



大阪・関西万博のパビリオン名称の決定について

～「電力館 可能性のタマゴたち」 エネルギーの可能性で未来を切り開く～

2023年10月4日

電気事業連合会

電気事業連合会は、2025年に開催される大阪・関西万博でのパビリオン出展に向け、現在、具体的な検討を進めております。(2022年2月10日お知らせ済み)。

また、2022年5月30日に開催されたパビリオン出展者発表会において、パビリオン「電力館（仮称）」とテーマ「エネルギーの可能性で未来を切り開き、いのち輝く社会の実現へ。」を発表いたしました。

その後も検討を進め、このたび、電気事業連合会のパビリオンの正式名称「電力館 可能性のタマゴたち」を決定いたしました。本名称については、本日、開催されました2025年日本国際博覧会協会主催「民間パビリオン構想発表会」においても発表しております。

電気事業連合会では、パビリオンにご来館いただく皆さまに、エネルギーに関わる“可能性のタマゴ”を数多く体験いただくことで、「エネルギーの可能性で未来を切り開く」ことを感じていただきたい、との思いを込め、名称を決定しております。

また、パビリオンの外観もタマゴ型にするとともに、表面には様々な形の平面が組み合わさった「ボロノイ構造」を採用しています。また、色を天候や時間帯などによって多様に見え方が変化するシルバーにすることで、未来に向けた多くの可能性を表現するとともに、自然や周囲の環境との調和も目指します。

「電力館 可能性のタマゴたち」は、カーボンニュートラルのさらにその先を見

据え、社会の基盤を支える電力業界ならではの視点で未来社会を描きます。

ご来館いただく皆さまにエネルギーやいのち輝く未来について「ワクワクする体験」を提供できるよう、引き続き、検討を進めてまいります。

以 上

「電力館 可能性のタマゴたち」 外観イメージ



施工：大和ハウス工業株式会社